

うけん

議会だより

No.170

令和5年10月発行



ウケングルメフェス2023(R5.10.1)

目 次

一般質問 3 ~ 7P

令和5年第3回定例会審議内容
. . . 8 ~ 9P

決算審査特別委員会委員長報告
. . . 10 ~ 11P

現地調査 12P

あなたも、議会を傍聴してみませんか

議会は、村の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。ぜひ、傍聴においでください。

- 定員(26名)の範囲内で、どなたでもご自由に傍聴できます。
- 受付票に住所・氏名を記入していただくだけです。
- 第4回定例会は、12月上旬を予定しております。



「村政」を問う — 般 質 問



**施政方針について特に力を
入れているのは。**

～ 喜島孝行議員 ～



**土捨て場の現在の
計画の進捗状況は。**

～ 肥後充浩議員 ～



**携帯電話不感地域対策の
現在の状況は。**

～ 保池穂好議員 ～



名柄集落の防災対策は。

～ 倉本富夫議員 ～

施政方針に特に力を入れている施策は。

3つの重点プロジェクト



喜島孝行議員

(喜島) 特に力を入れている施策は。

(村長) 基本方針として六つの村作りを掲げていますが、特に力を入れている令和5年の施政方針は、村長就任2期目を迎えた私の公約、稼げる産業の振興、快適な生活環境、健やかな暮らし広がるつながり、心豊かな人作りの五つの柱と第6次宇検村総合振興計画の基本構想に掲げた六つの方針を軸に打ち出しました。計画の趣旨や内容を村民と共有し、村民や団体、事業者など多様な主体による協働の村作づくりを推進することが重要と考えております。総合的・戦略的な視点に立ち、実効性の高

いものとなるよう本村の現状・課題を整理し、令和5年の施政方針としております。

特に力を入れている施策は宇検村総合振興計画の前期の重点プロジェクトとして、

- ①ゼロカーボンプロジェクト
- ②地域・ひと機能強化プロジェクト
- ③住んでみたい村プロジェクト

を設定しました。単年度の取組など、村づくりを推進する事業は様々ですが、全て村民が安心して暮らせるための施策であります。議会から承認された予算の枠の中で、しっかりと事業を執行し、成果を出せるよう努めてまいります。

災害防災

(喜島) 最近、豪雨や台風の影響で線状降水帯が続々と発生し、多大な被害を及ぼしているが、それ

に対する予防は。

(村長) 最近では6月20日からの線状降水帯と8月5日からの台風6号がありますが、線状降水帯の影響では一部半壊、床上・床下浸水被害、村道林道の土砂崩れ等、これまでにない災害が発生しました。幸い宇検村では、人的な被害は発生いたしませんでしたが、消防団をはじめとする自主防災組織の連携の成果であったと思っております。台風も大型化の傾向にあり、村は自助・共助・公助をそれぞれが常に意識して、地域防災力の向上を図っていくことが第一と考えています。また、今回の大雨時で浮き彫りになった土砂崩れや河川氾濫の危険箇所は、災害の再発が予想されますので、発災の要因分析に努め対策してまいります。併せて危険個所の点検を随時行つてまいります。

男女共同参画

(喜島) この頃、男女共同参画や男女雇用機会均等法などで女性の進出が多くなっているが、どのよ

うに感じているか。

(村長) 各分野における男女の地位の平等や固定的性別役割分担、職場や家庭、地域活動での分担等に対する社会システムの改革は、まだ十分ではなく、宇検村も重要な施策として、取り組んでいかなければなりません。宇検村が策定した、平成26年度から10年間を期間とする男女共同参画基本計画及び配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援計画が、今年度で周期を迎えます。この間の社会情勢の変化や法制度の整備、住民意識の変化を踏まえ、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策総合的・計画的に推進するため新たな計画を策定する作業を現在進めております。今回は、広域的な連携の強化を図るため、大和村、瀬戸内町、龍郷町と協働で進めており、自治体の垣根を越え、全ての人が暮らしやすい、奄美大島の地域社会づくりを目指していく所であり

土捨て場の現在の計画の進捗状況は。

地形把握の調査を行っている



肥後充浩議員

(肥後) 土捨て場の現在の計画の進捗状況は？

(村長) 大和村との境界を候補地として考えている、地形把握の調査業務を行い、大規模とならない様10年間対応出来る様計画している。

(肥後) 現在の村にある残土の量と箇所は。

(村長) 村有地における箇所は5カ所在り、量としては村が8,480㎡、県が5,660㎡有り合計で14,140㎡を仮置きしています。

(肥後) 実際に測量を行って、どれくらいの量が入るのか判明したのか。

(建設課長) 面積が2.6haです。今回これを利用して実施設計に入る予定です。

(肥後) 現在仮置きしてある土量は約8,000㎡として、捨土金額は約3,100万円の捨土金額になります、これは全て村単独の金が必要になる。捨て土場の建設が2年3年後になると、1億円ぐらいの村持ち出しがかかる、先に捨て土場を何年度に作ろうと計画した方が良いのではないか。

(建設課長) 早急に整備できるように処理場に持っていきたいと思う。

(肥後) 今回の質問したのは、予算の計上に間に合う様に、行ました。無駄な経費に使うより、1億2億使って土捨て場を作るのが先では無いのか。

(村長) 集落の方にも丁寧に説明しながら、早急に進めていきたい。

(肥後) 世界自然遺産の登録地で、色々なところに、赤土の残土をおくのもの、見栄えが悪いので早めの捨て土場の設置が必要だと思います、来年度予算には是非計上して下さい。

年が立ち老朽化が進み、改修に成るのは、当然です。34年後に1億8千万かかると考えると年間の投資としては少ないと思います。是非新年度予算に計上を考慮して欲しい村民の為に。

運動公園

(肥後) 昨年の9月議会で若手職員から再整備計画の案がでて来たと答弁しているが、その後はどうなったのか、又陸上競技場の改修計画は有るのか。

(村長) 5年5月再整備検討委員会が制定された、若手の職員から7件の応募があった、引き続き検討会を開催している。陸上競技場は再整備委員会の検討結果として、スポーツ振興宝くじ助成金や、奄振の補助金を活用して負担を少なくして、実施が望ましいとの意見でした。

(肥後) 競技場の改修金額は。

(教委局長) 見積金額は1億8千万円ぐらいの額。

(肥後) 村民が一堂に会して、楽しむ村民運動会です、設置後34

各集落への補助金

(肥後) 公民館の管理や集落内道路の維持管理費等の支援として、各集落へ10万円程度の補助は出来ないか。

(村長) コミュニティーの維持支援につきましましては、高齢化や活動費助成や人的応援など費用面と人の支援が必要となると考えている。

(肥後) この1・2年で検討すると考えて良いか。

(村長) 助成と言うより美化作業や字費など厳しいと聞いており要綱を作りながら検討していく。

(肥後) 各集落において、街灯の維持や集落内の村道の草刈りなど行って集落の維持を行って、是非来年度の予算において、是非拝領をお願いします。

携帯電話不感地域対策の現在の状況は。

電波発射実験を実施

で最優先に宇検村側と考えた。



保池穂好議員

(保池) 携帯電波不感地域対策の現在の状況は。

(村長) 今年4月に電波発射実験が行われ、大畑から赤土山展望公園までの不感地域の解消が見込めると結果が出ている。エリア解消への複数事業者の参入意思が確認できている。

(保池) 宇検村から赤土山を越えてトンネルまで解消できないか。

(総務課長) 赤土山頂上から宇検側までの解消を目指している。

(保池) 費用面も含め奄美市、瀬戸内町と協議して赤土山全域つながらるようにするべきではないか。

(総務課長) スケジュール的に相当伸びてくることも考えられるの



▲赤土山・電波塔設置予定場所

要望書の取扱いは

(保池) 現在の要望数はいくらか。

(村長) 1期目から現在までの要望数は117件ある。

(保池) 村民に対しての返答はどうなっているか。

(村長) 集落の区長が集落の意見を要望書として文章で提出することになっている。返答としては主管課が区長へ伝えたり、総務課がまとめて伝えている。

(保池) それ以前の要望について

はどうなっているか。

(総務課長) すべて取り揃えている。

(保池) その要望に対しての回答は。

(総務課長) 議員からの質問があった、改めて、区長さんと連絡を取りあつて区長会で進捗状況を確認しながら進めていきたいと感じた。

(保池) 区長さんから要望は要望書として紙で提出しているので文章で回答するのが適正ではないかという声もいただいております。いつの間にか要望が忘れられるようなことがないようにしっかりと取り組んでいただきたい。

光害条例の考えは

(保池) 世界自然遺産登録を受け、動植物、そして観光誘致のためにも光害防止の条例制定の考えはないか。

(村長) 道路灯や防犯灯、屋外施設等の聡明の不適切な設置や配慮に欠けた使用・運用が動植物の生

光害とは？

光害（ひかりがい）は、

過剰または不要な光による公害のこと。夜空が明るくなり天体観測に障害を及ぼしたり生態系を攪乱させたり、あるいはエネルギー資源を浪費する一因になるというように、様々な影響がある。光害

は、夜間も経済活動が活発な、都市化され、人口が密集したヨーロッパや日本など特に深刻である。

その他の質問

・第二次宇検村まち・ひと・しごと総合戦略の進捗状況は。

育や人間の諸活動に及ぼす影響のことと認識はしている。国内における条例制定は天文台の存在で天体観測に適した夜空の環境確保である。

今のところ条例制定に向けての状況ではないですが、地域住民の意見要望に注視し対応したい。

名柄集落の防災対策は。

緊急自然災害防止事業を使い浚渫を検討



議員 倉本 直樹

(倉本) 災害状況と今後の見通しは。

(村長) 一部損壊1件、床上浸水6件、床下浸水32件、村道災害10件、村林道災害13件、河川災害3件、農林水産物でも大きな被害が発生しました。うち住居被害に対しましては村からの見舞金と全国から被災者に寄せられた見舞金を分配し、生活再建を支援しているところです。

(倉本) 集落別の被害状況は。

(建設課長) 床上浸水が名柄5件、屋鈍1件、床下浸水が芦検1件、田検5件、石良3件、須古1件、部連4件、名柄6件、平田3件、阿室3件、屋鈍6件でした。

(倉本) 村内各集落で床下浸水が多くみられるがその要因は。

(建設課長) 河川の氾濫や山からの水が溜まって浸水というのものがあつたと聞いています。

(倉本) 以前いつたと思いますが名柄の2か所、水が溜まる場所大雨や高潮満潮の時に私の膝下まで来るがどうかできないのか。

(建設課長) 名柄の2か所、入り口と久慈に曲がる三差路は承知しています。土地が低いということもあります。引いたらすぐに排出できるような側溝とかを検討しています。県のほうにも強制で排出できる施設とかいろいろな事業の当てがないか調べていきたいと思っています。

(倉本) 今回の線状降水帯による避難者はどれくらいいたか。

(総務課長) 村内全域で55名が避難しています。

(倉本) 避難場所が防災会館や学

校になってると思うが避難場所によつては携帯電話のキャリアにやつて使えない防災ラジオも聞かない状況だったが改善したのか。

(総務課長) 携帯電話のほうは事業所に連絡を取り対策はしてもらいました。防災ラジオは屋外アンテナを取り付けラジオがすべて入るような努力をしているところでは。

(倉本) 道路被害に対して今後の工事は

(建設課長) 名柄久慈間の道路に関しては地滑りの調査を行いながら片道通行でとしている感じですが。県道に関しては県の災害査定も終わっていますので実施に向けて進めていく予定だと思われま

(倉本) 河川の事ですが名柄の川は2本ありますが前年も今年度も土砂を取っているが大雨になると必ず元に戻る感じがするが何か対策はするのか。

(建設課長) 各集落、緊急度をつ

け浚渫を現在も行っている。河口域の方は緊急自然災害防止事業を使って浚渫することを考えている。

農業振興

(倉本) 公社のバークは現在どうなっているのか。

(村長) 現在バーク購入は畠納開発、瀬戸内町の里山興産、丸平産業、奄美振興産業となっております。

(倉本) 畠納開発と月に60tバークを出す契約していたが現在の状況は。

(産振課長) 令和5年の実績としては4月が5t、5月が11.9tのみとなっています。

(倉本) 土地も無償貸出している木も機械も置いていないのに契約を守れないのは何故か。

(産振課長) 契約を交わした時点から3度協議しています。県の林務水産課とも協議をし今後の事を考えたいと思っております。

滞納対策は 全庁的な取り組みを！



35億5,374万3千円

令和4年度一般会計決算

前年度比
4.8%減

目的別 ※ ()内は一般会計決算総額に対して占める割合 単位：千円

1. 議会	54,450 (1.5%)	8. 消防費	140,822 (4.0%)
2. 総務費	970,589 (27.3%)	9. 教育費	252,337 (7.1%)
3. 民生費	486,311 (13.7%)	10. 災害復旧費	18,764 (0.5%)
4. 衛生費	191,917 (5.4%)	11. 公債費	448,170 (12.6%)
5. 農林水産費	372,994 (10.5%)	12. 諸支出金	0
6. 商工費	87,661 (2.5%)	13. 予備費	0
7. 土木費	529,728 (14.9%)		

歳出合計 3,553,743千円

第3回定例会

令和5年9月11日～9月19日

その他可決された案件

令和5年度補正予算

- ・ 専決処分
(令和5年度宇検村一般会計補正予算)
- ・ 一般会計補正予算
- ・ 簡易水道事業特別会計補正予算
- ・ 農業集落排水事業特別会計補正予算
- ・ 介護保険事業特別会計補正予算

条 例

- ・ 宇検村簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について
- ・ 宇検村集落排水事業の設置等に関する条例の制定について

そ の 他

- ・ 鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称の変更及び
同組合規約の変更について
- ・ 宇検村固定資産評価委員会委員の選任について 伊村 廣文 氏 (湯湾) 同意

令和5年度一般会計

補正による主な事業

商品券

総務費

補助金

プレミアム商品券発行事業補助金

1,640万円

災害復旧費

工事請負費

林道(5路線)・河川(3ヶ所)

2億5297万7千円



決算審査報告



決算審査特別委員会
委員長 保池 穂好

審査の概要

令和4年度宇検村一般会計歳入歳出決算及び特別会計(①国保事業 ②国保施設事業 ③簡易水道事業 ④農業集落排水事業 ⑤漁港漁村集落排水事業 ⑥介護保険事業 ⑦後期高齢者医療事業)の決算審査について審査いたしました。

住民の税収を財源に住民生活や福祉向上のために、単年度にどれ程の行政効果・経済効果をもたらしたか、無駄を省いた歳入・歳出が的確に執行されているか、又、全ての村民に公正、公平に行政運営が行われているかを、重点に審査した結果、全会一致で原案の通り認定すべきものと可決

いたしました。
審査の詳細について以下報告いたします。

一般会計決算

歳入決算総額 37億2千597万円
主な内訳は自主財源 5億4千354万8千円で14・5%依存財源は31億8千212万2千円で85・5%繰越金は2億6千311万円で7・1%となっております。

村税と税外収入については、現年度の徴収率が98・1%となっております。職員の取組が高く評価できるが、収入未済総額は916万5千円、不納欠損額が27万5千円と多額で深刻な状況にあります。主な収入未済額については、村税の固定

資産税が222万2千円で不納欠損額は24万1千円、住宅使用料が680万3千円であり前年度より61万4千円増加している。滞納者対策については、村民の公平公正な観点からも適正な徴収対策をしていただくことを強く望みます。歳出決算総額は35億5千374万3千円、内訳は

13億1千900万7千円、前年度比127万7千円の減、投資的経費7億5千888万5千円、前年度比8千428万3千円の減、その他の物件費、繰出金等は14億7千585万1千円、前年度比

9千544万6千円の減で、本年度歳出総額は前年度比1億8千100万6千円の減となっております。少子高齢化で人口減少に歯止めが立たない現状ですが、職員一丸となって村民への福祉向上・経済活性化に努めるよう切望いたします。

特別会計決算

7特別会計歳入決算総額 9億5千166万9千円で、前年度比7・9%の増、歳出決算総額9億2千897万2千円で前年度比10・9%の増となっております。

国民健康保険事業においては、現年度の税の徴収率は95・9%で前年度より0・6ポイント低く、収入未済総

額は1331万4千円であります。

その他の6特別会計で収入未済総額は364万円、現年度の使用料徴収を中心に行っているためであるが、滞納額が高額となっており、今後一般会計と同様に、全庁的な取り組みを求めます。

本来、特別会計は独立採算が原則であるが、依然として一般会計からの繰入が多く、一般会計の財政を圧迫している状況は長期的な計画や抜本的な対策が求められます。

集落排水事業の加入率については、8割の加入率となっておりますが、引き続き加入率の向上に努めていただきたいと思えます。漁村集落排水事業は、

額が繰入の現状から将来を見据えた抜本的な対策と、村としての将来の方向性を引き続き模索する必要がある。

令和4年度決算は概ね初期の目的に沿って執行されたと評価します。経常収支比率92・5%、実質公債費比率8・5%、将来負担比率はなしで、改善傾向にあるが、財政健全化に向けて尚一層の努力を切望する。

又、一般会計及び7特別会計の起債残高合計は50億3千591万2千円です。財政の弾力化、健全化にむけて、更なる行財政改革の持続的な努力と自主財源確保のための施策が求められることが今後の課題と言えます。

交付税の当初予算額を、決算見込み額にしてはどうか。

住宅使用料の滞納状況について、平等性の観点からも少額でも徴収すべき。

住宅使用料滞納者の死亡者や居所不明者については、連帯保証人の確認をおこない徴収や不納欠損の検討をしてほしい。

ねこ対策事業について、野猫は減少傾向にあるが、今後の見通しについて改めて検証を行い、今後の事業の方針について検討する時期ではないか。

自治質疑・意見

村単独事業の住宅助成やビニールハウス助成について、事務手続きの簡素化はできないか。

審査の結果

本決算審査特別委員会に付託された令和4年度一般会計及び7特別会計決算は、全会一致で認定することに決定しました。

コロナ禍から回復がみられる経済状況の中、本村においても日常生活や経済・社会活動が発展できるよう様々な施策を実施されることを強く望みます。

最後に、執行部は本特別委員会の指摘と提言を真摯に受け止められ、職員一人一人が問題意識をもって財政の健全運営に努め、改善を行い、地域の活性化に取り組み事を強く要望して、令和4年度決算審査特別委員会の報告とします。



現地調査

令和5年9月15日(金)

令和5年6月の線状降水帯により増水した河川、被害箇所の現状確認へ行きました。



議会だよりについてご意見をお聞かせください

議会だよりは定例会ごとに年4回発行し、各世帯に配布しています。内容については、定例会の概要や一般質問の要旨等を掲載していきます。今後も「分かりやすく・親しみやすい」議会だよりの作成を目指し取り組んでいきます!! 宇検村ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。(令和2年分から)

皆様からのご意見をお待ちしております☆

【お問い合わせ先】議会だより編集委員会

電話：67-2211 メール：gikaijimukyoku@uken.net

編集後記

朝晩めっきり涼しくなって参りました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。線状降水帯で被災されました皆様には心よりお見舞い申し上げます。さて、観光振興を訴えてきました私ですが、令和5年3月に見えないものを感じる観光プロジェクト(観光基本計画)が策定されました。風に触れ、土に触れ、五感で感じる心旅。その中には、6つの基本方針があげられている。中でも特にいいなあと感じたのが、基本方針④の『宇検らしさの創出で二次交通整備を行い地域周遊の促進を行う』というものだ。かつて船が交通手段だったころの『平運丸』『豊丸』を復活させ、暮らしと観光に活用するというものだ。車で観光と船で観光できるのはお客様にとっても選択できる楽しみと次は車で、船でトリビートにもつながるし、船で移動しながら釣り等できたらなお楽しそうとか思う。また、路線バスの便数が少ない宇検村ですが船での移動も古き良き時代を思い出しながら、話しながら移動するのもいいなあとおもっ。

これからの宇検村楽しみです。

保池 穂好

【発行責任者】

議長 杉浦 治俊

【議会だより編集委員会】

委員長 保池 穂好

委員 壽山 新太郎

委員 倉本 富夫